

Kudan、次世代の車載 SoC における人工知覚技術の応用事例を紹介 ～Synopsys 主催のセミナーに、ゲストスピーカーとして登壇～

Kudan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大野 智弘、以下 Kudan）は、11月19日（火）に開催される Synopsys 主催の『ARC Processor Summit Japan Nov.2019』に、Kudan の執行役員がゲストスピーカーとして登壇することをお知らせいたします。

講演では、人工知覚（Artificial Perception）技術と次世代の SoC の技術特性がともに活かされるエッジ・クラウド・コンピューティング型の実装パターンについて、Kudan の技術紹介やこれまでの実装の課題を交えてご紹介いたします。

ぜひご聴講ください。

■イベント概要

＜名称＞ ARC Processor Summit Japan Nov.2019
＜主催者＞ Synopsys, Inc.／日本シノプシス合同会社
＜開催日時＞ 2019年11月19日（火）10時～
＜開催場所＞ 東京コンファレンスセンター品川 4F（東京都港区港南 1-9-36 アレア品川）
※JR 品川駅港南口（東口）から 徒歩2分
＜プログラム＞ 9:30～ : 受付開始
10:00～16:30 : セミナー／講演
(★Kudan の講演は、15時より開始。ブース出展もあり)
16:30～18:00 : カクテル・パーティー
＜参加費用＞ 無料
＜セミナーURL＞<https://www.synopsys.com/ja/jp/japan/events/arc-summit-jp-nov2019.html>

【Kudan 株式会社について】

Kudan（東証上場コード: 4425）は機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（ディープテック）の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、機械の「脳」に相当する人工知能（AI）と対をなして相互補完する Deep Tech として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイリストーンモデルに基づいた事業展開を推進しており、独自の人工知覚（AP）技術に加えて、人工知能（AI）や IoT（Internet of Things）との技術融合に向けた Machine Perception（機械知覚）Deep Perception（深層知覚）や Neural

Perception Network（知覚ニューラルネットワーク）に関する研究開発を行っています。
詳細な情報は、<https://www.kudan.io/?lang=ja> より入手可能です。

■会社概要

会 社 名： K u d a n 株式会社
証券コード： 4425
代 表 者： 代表取締役 大野 智弘

■問い合わせ先

contact@kudan.eu

